

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
資料配付

配付 平成29年3月31日
日時 本資料の配付をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会第4回定例会議を開催しました — 審議概要を公表します —

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会は、平成28年度第4回定例会議を平成29年3月16日に北陸地方整備局で開催しました。

平成28年10月から12月までの間に発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務及び物品の製造等の中から委員が無作為に抽出した6件の事案について、競争参加資格の設定の理由及び経緯や競争入札に係る指名の理由及び経緯等について審議を行いました。

審議の概要について、別紙のとおりお知らせします。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」において第三者の意見を適切に反映する方策を講ずることとされていることを踏まえ、公共工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験等を有する者で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約についての審査等の事務を行います。委員会には第一部会と第二部会があり港湾空港関係は第二部会で審議されます。

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ
福井県政記者クラブ

問い合わせ先

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
電話 025-370-6650（経理調達課）
契約管理官 外山 幸博
経理調達課長 高橋 哲雄

北陸地方整備局入札監視委員会（第二部会第4回定例会議） 審議概要

開催日及び場所		平成29年3月16日（木） 「北陸地方整備局」（新潟市中央区美咲町1-1-1）	
委員		部会長 鈴木 高志（弁護士）	出席
		部会長代理 池田 文美（公認会計士）	出席
		委員 根岸 睦人（新潟大学准教授）	出席
		部会委員現在数3名	出席3名
審議対象期間		平成28年10月1日～平成28年12月31日	
抽出案件		総件数 6件	(備考)
建設工事	一般競争入札方式 (WTO対象外)	2件 新潟港（西港地区）航路泊地浚渫工事（その2） 福井港海岸（福井地区）離岸堤消波工事（その2）	
	通常指名競争入札方式	1件 伏木富山港（富山地区）岸壁（-10m）（2号）（改良）仮設工事	
建設 ト ン サ ル タ ン	簡易公募型 競争入札方式	1件 新潟港（西港地区）騒音・振動調査	
	簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式)	1件 金沢港・七尾港・輪島港基準点測量	
役 物 品 及 び	一般競争入札方式	1件 わかな計画修理工事	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等		意見・質問	
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		な し	

意見・質問	回 答
<p>【入札・契約手続の運用状況等】</p> <p>〔入札方式別発注工事等一覧〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔指名停止等の運用状況一覧表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔再度入札における一位不動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔談合情報等の状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【抽出案件】</p> <p>1 建設工事：港湾等しゅんせつ工事 一般競争入札方式（WTO対象外）</p> <p>「新潟港（西港地区）航路泊地浚渫工事（その2）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件など浚渫工事では、1者入札になる傾向か。 ・過去には複数の参加者がいたことがあるか。 ・1者か複数のどちらが多い傾向か。 <p>・施工体制の確認については、ヒアリングと資料により評価するとなっているが、具体的になやり方を知りたい。</p> <p>・加算点の中で局長表彰、事務所長表彰の評価項目があるが、対象となる割合はどのくらいあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本件では、ポンプ浚渫船などの機材を準備できた者が1者であった。 ・夏場の施工条件が良い時期には、遠方から機材を回航して複数参加した実績はある。 ・作業船が減少している中で浚渫船など機材の手配が難しくなっていることから、複数の参加は難しい状況である。現在、総合評価の項目として作業船を保有する者を優位に評価しており、船舶保有者の増加につなげ、入札参加者の増加を図りたいと考えている。 ・開札後、調査基準価格を下回った者については、追加資料と工事費の根拠、下請関係、施工体制台帳、材料の調達予定などの資料を提出させ、面談でヒアリングを行い評価する。調査基準価格を下回らない者については、追加資料を求めずに配置予定技術者等からの電話ヒアリングで評価を行う。 ・毎年発注された件数に対して請負工事成績点が優秀な者から、局長表彰が概ね3%程度、事務所長表彰が概ね5%程度を選定している。

意見・質問	回 答
<p>2 建設工事：港湾土木工事 一般競争入札方式（WTO対象外） 「福井港海岸（福井地区）離岸堤消波工事（その2）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者4者のうち3者が調査基準価格を下回っているが、予定価格の設定に問題は無かったのか。また、このような結果になった理由は何か。 ・必要な型枠が見込まれていないことについて、加算点の評価に影響するのか。 ・入札調書の施工体制評価点について、調査基準価格を下回った3者の点数が記載されていないが、どうしてか。 ・追加資料は開札前に提出させるのか。 ・施工体制の評価をしてから追加資料を求めるのか。 ・追加資料を求める場合と、求めない場合では、業者の負担はどの程度違うのか。 ・調査基準価格を上回った者は、追加資料を求めなくても大丈夫ということか。 ・参加者は、加算点が何点になるか分かっているのか。 ・加算点で差があるに、なぜ入札に参加するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件では、短期間に多くのブロックを製作することから、標準の型枠の賃料に割増が必要であり、特記仕様書にもその旨明示していたが、3者の工事費内訳書にはその割増が計上されていないことが原因である。 ・技術資料の評価時点では、工事費内訳書は提出されていないため、評価に影響は無い。仮に受注した場合は施工打合せの際に、工期内に完成できるように指示することになる。 ・3者については、調査基準価格を下回ったため追加資料を求めたが、資料の提出が出来ない旨回答があったため、入札無効とした。追加資料が未提出でありヒアリングも出来ないため、評価されていない。 ・施工体制の追加資料の提出は、開札後、調査基準価格を下回っている場合に、追加資料を提出を求める。 ・追加資料を求める施工体制の評価は、追加資料を提出させた後にヒアリングを行う。 ・追加資料は、工事費明細書、下請予定業者一覧表、配置技術者配置名簿、資材購入予定先一覧、施工体制台帳など、施工にあたって必要な体制や品質確保が確認出来る書面を提出させることになり、かなりのボリュームとなる。 ・調査基準価格を上回った場合は、適正な履行が可能と判断している。品質確保の観点から下回った者には適正な履行が出来ることを確認する資料を求めている。また、ダンピング防止の効果もある。 ・本件の場合は、過去の実績に係る評価のみになることから自己の加算点について、把握出来ると考えている。 ・誰が入札に参加しているか分からないため、やる気のある者は参加してくると思われる。
<p>3 建設工事：港湾土木工事 通常指名競争入札方式 「伏木富山港（富山地区）岸壁（－10m）（2号）（改良）仮設工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件の低入札調査資料の提出期限は、施工体制確認の追加資料の提出期限と同様に短期間に提出することとなっているのか。 ・先ほどの施工体制の確認と低入札価格調査は中身が違うものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件は低入札価格調査の資料の提出となっており施工体制確認の追加資料とは提出期間は異なる。 ・施工体制の確認は、一般競争入札の総合評価の評価項目として評価するものであって、本件は通常指名入札であり価格のみで落札者を決定する方法であることから、施工体制の確認は無く低入札価格調査を行い落札者を決定することとなる。調査では、低価格で履行出来る理由や低価格で入札した理由をヒアリングして工事の履行が可能か

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・指名業者選定総合評価表と入札証明書の指名業者の関係性は、どうなっているのか。 ・低入札価格調査と施工体制確認では、どちらが厳しい調査となるのか。 <p>4 建設コンサルタント業務等：建設コンサルタント等簡易公募型競争入札方式</p> <p>「新潟港（西港地区）騒音・振動調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質確保基準価格を下回った場合はどうなるのか。価格が安くても歯止めは無いのか。 ・照査の内容はどの様なものか。 ・受注者の意を受ける第三者を選ぶ恐れはないのか。 ・第三者が適切に照査をしなかった場合はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件は通常指名入札であるため、指名業者選定基準に基づいて業者選定しており、選定の際の点数付けした資料が指名業者選定総合評価表で、その内選定された指名業者が入札証明書に記載されている。 ・低入札価格調査では、調査の結果で落札者を決定することから厳格な調査になる。 <ul style="list-style-type: none"> ・下回った場合は、受注者の負担で成果内容の照査を第三者から実施してもらうこととなる。 ・照査の方法については、共通仕様書に基づいて実施する。 ・第三者の選定にあたっては、資本的に関係がなく、過去5年間の取引関係が無いなどの条件がある。 ・受注者に対して瑕疵担保の請求をすることになるが、第三者には責任を求めるものでない。
<p>5 建設コンサルタント業務等：建設コンサルタント等簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>「金沢港・七尾港・輪島港基準点測量」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が99.98%とほぼ予定価格と同額となっているが、その理由は何か。 ・受注者の加算点が高いため、この額で入札しても受注出来ると考えたのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・価格評価点の算定方式を教えて欲しい。 ・技術評価点のうち業務理解度と実施手順で差が出ている理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の算定は、基準等が公表されていることから精度高く算定が可能である。また金額については、業者の受注意欲があまり高く無かったものと考えている。 ・受注者に確認したところ、受注意欲はあまり高くなかったが、会社の意思として入札する以上予定価格以下の価格にしたとのことであった。他社については、受注意欲が高かったが、調査基準価格を下回ったり、技術評価点が低く、落札ができなかったと思われる。 <p>入札価格を予定価格で除した割合が高い場合（入札額が高い場合）は数値が低くなり、割合が低い場合（入札額が低い場合）は数値が高くなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書で提出された内容を、3人の評価者が評価し、その平均が技術評価点となる。評価低い者は業務実施上必要な課題の記載が無いことや業務手順の理解度が低く低評価となった。
<p>6 役務及び物品：役務の提供 一般競争入札方式</p> <p>「わかな計画修理工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加地域を「関東・甲信越地域」及び「東海・北陸地域」としているが、それでも1者の参加となるのか。 ・時期をずらせば、参加者が増えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションでは、C等級で735者、D等級で399者合計で1,134者の対象がいたが、業務期間が年末から年度末であったことから、受注体制が取れなかったと考える。 ・増える可能性はあるが、港湾業務艇の使用時期が港湾工事の実施時期である4月から11月となっていることから、繁忙期の修理は難しい。

審 議 案 件 詳 細

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式 (WTO以外)	新潟港(西港地区)航路泊地浚渫 工事(その2)	港湾等しゅんせつ	1	1	H28.12.15	(株)本間組	177,120,000	95.51%
一般競争入札方式 (WTO以外)	福井港海岸(福井地区)離岸堤消 波工事(その2)	港湾土木	6	1 外2者辞退 外3者無効	H28.12.20	伊藤建設(株)	66,096,000	90.72%

入札方式	工 事 名	工事種別	指名業者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
通常指名 競争入札方式	伏木富山港(富山地区)岸壁(-1 0m)(2号)(改良)仮設工事	港湾土木	46	9 外37者辞退	H28.11.1	水新建設(株)	35,640,000	86.64%

【コンサル】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
簡易公募型 競争入札方式	新潟港(西港地区)騒音・振動調査	測量・調査	2	2	H28.12.5	(株)環境公害研究 センター	1,296,000	53.85%
簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式)	金沢港・七尾港・輪島港基準点測 量	測量・調査	3	2 外1者無効	H28.11.28	玉野総合コンサルタ ント(株)	9,601,200	99.98%

【物品・役務等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	わかな計画修理工事	役務の提供	1	1	H28.12.19	(株)清水造船建設	7,182,000	99.85%